

押入れ産業社長 森田 浩史氏

米軍基

地内PX

(売店)

担当とし

て、品川

の本社か



ら横須賀基地まで往復する日
々を送った。商品のデリバリ
ーからデイスプレー、店頭販
売、購買部へのオーダーテイ
クなど、なんでも1人でやっ
た。店の隣はライバル会社の
店舗となっているため、お客
である軍人がやってくると当

た。スービックは首都マニラ
から北西に車で3時間。基地
の外は軍人相手の店が立ち並
ぶ一本道以外は真っ暗。ホテ
ルもバラック小屋で、もちろ
んシャワーは水だけ。先輩は
1泊すると「オーダーが取れ
たら帰国せよ、後は任せた」
と言って帰国してしまった。
現地のスタッフ1人を頼り
に、バラック小屋から基地へ
往復する日々が始まった。当
時、基地の外はかなり治安が
悪いと聞いていたが、こっち

フィリピンへ初出張

も血気盛んな
20代、好奇心
旺盛で怖いも

然、売り込みにも熱が入る。
癖のある英語にも少しずつ
慣れてきた頃、フィリピンの
担当を命じられた。フィリピ
ンのスービックにある当時ア
ジア最大の米海軍基地で、今
ではフィリピンに返還され、
経済特区になっていると聞い
た。

の知らず。夜な夜な繁華街を
徘徊した。結局、2週間近く
滞在したと思う。ただ、その
半分近くはお腹を壊して使い
ものにならなかったと記憶し
ている。基地の外では国際電
話がつながらなかったため、
基地内でオペレーターを通し
て会社に連絡を入れた。

先輩同
行の下、
初の海外
出張の機
会を得



帰国した時はげっそりして
いたと思う。この時、これから
4年半、60回を超えるフィリ
ピン出張が始まるとは夢にも
思っていなかったのである。